



※広報コミュニケーションプランナー 谷 氏と協働作成（プロポーザル仕様書用）

うれしい、おいしい、みんなしあわせ信州

～ともに育てる、日本の未来を耕す農福連携～

何故、農業と福祉を連携させるのか
「共生社会の実現」をどう図るのか

農福連携が持つ「社会的意義」
「食を通じた価値の共有」

- ・「うれしい」気持ち
- ・「おいしい」体験
- ・「しあわせ」なつながり

農と福の連携は「支援」
ではなく「共に生きる」
取組

【長野県が農福連携を推し進めていくための3つのキーメッセージ】

農家にとっての
「作り続けられてよかったです」

うれしい

障がいのある方にとっての
「働いて、感謝されてよかったです」

うれしい

多様な方々が共に働くことで、農業の現場に新たな力と温かいつながりが生まれます。人手不足の解消だけでなく、信頼関係が築かれます。

しあわせ

みんなにとっての
「また、買いたい」

おいしい

自然の中で体を動かし、作物を育てる体験は、達成感と自己肯定感を育みます。「認められた」という実感が、社会とのつながりを深めてくれます。

2. 実施事業イメージ

本事業で「ノウフク」の意義を理解し実体験できるイベントを多様なステークホルダー・市町村・民間と連携し実施、機運を活気づけ広げる

消費者を含めた幅広い層に認知してもらうための仕掛けづくり

会長県として全国的な取組を実施してリードし、全国的な機運醸成に

広報

WEB、SNS、新聞広告、TV広告、映画館広告、
デジタルサイネージ等

マルシェ

シンポジウム

常設販売ブース

現地研修会

